

令和3年 日田市観光動態調査報告書

一般社団法人日田市観光協会

1 調査概略

この調査は、令和3年（1月～12月）の市内の主要な宿泊施設（38施設）の宿泊者数及び、主要観光施設（45施設）の来館者数、イベント・祭り来場者数および地域経済分析システム「RESAS」を用いて調査したものの。

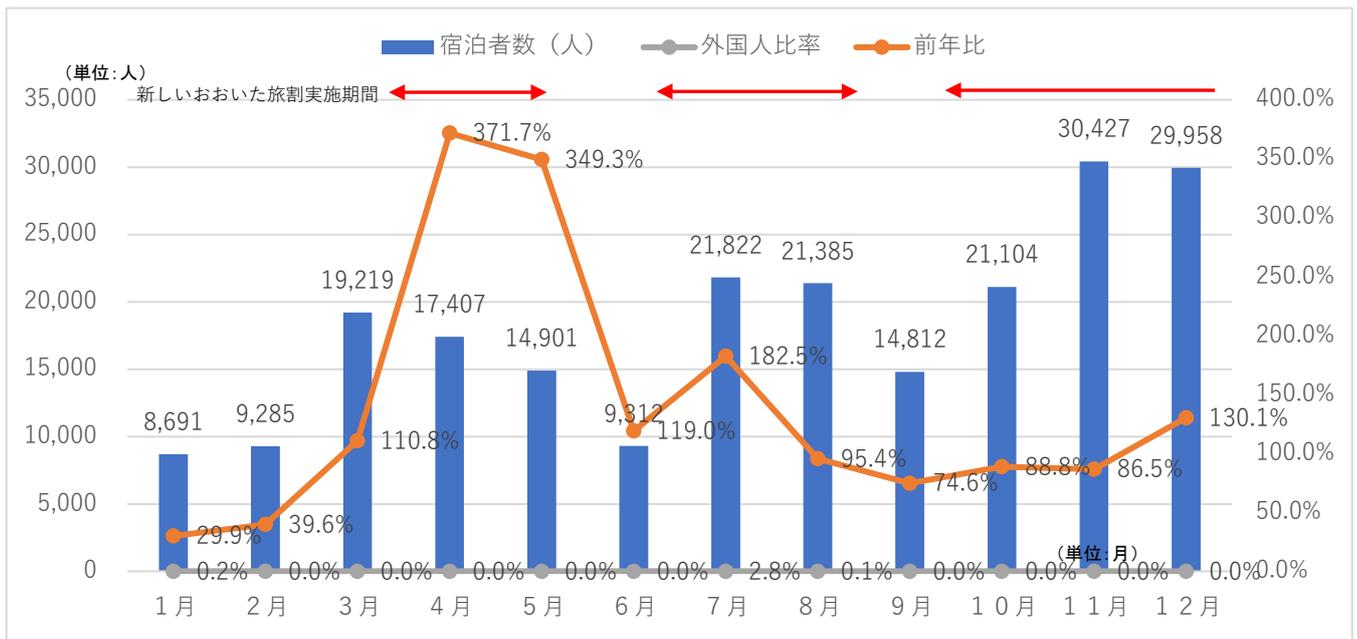
- ・ 令和3年の宿泊客数は213,823人で、令和2年と比べ2.1%減少した
- ・ 令和3年の国内宿泊者数は217,662人で、令和2年と比べ2.9%増加した。
また、国内宿泊客の構成を発地別に見ると、福岡県からの宿泊客が最も多く（構成比34.6%）、次いで大分県内（19.7%）、その他九州（県内・福岡県除く）（構成比15.4%）となった。
- ・ 令和3年外国人宿泊客数は661人で、令和2年と比べ94.2%減少した。
- ・ 令和3年の日帰り観光客推計値は1,719,016人で、令和2年と比べ6.9%増加した。

市内宿泊客の動向

令和3年の市内における宿泊客数は、令和2年と比べ2%減少した。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大及び観光消費喚起策（新しいおおいた旅割）による影響が大きくみられる。

【図表1】令和3年月別宿泊数



新しいおおいた旅割：令和3年3月20日～5月7日、6月14日～8月18日、9月23日～

日田の恩返しキャンペーン：第3弾4月12日～9月30日、第4弾10月1日～令和4年1月31日

2 国内宿泊客数の動向

令和3年の国内宿泊客数は、令和2年と比べ2.9%増加した。【図表2】

月別に見ると4月・5月は前年を大きく上回った。【図表3】

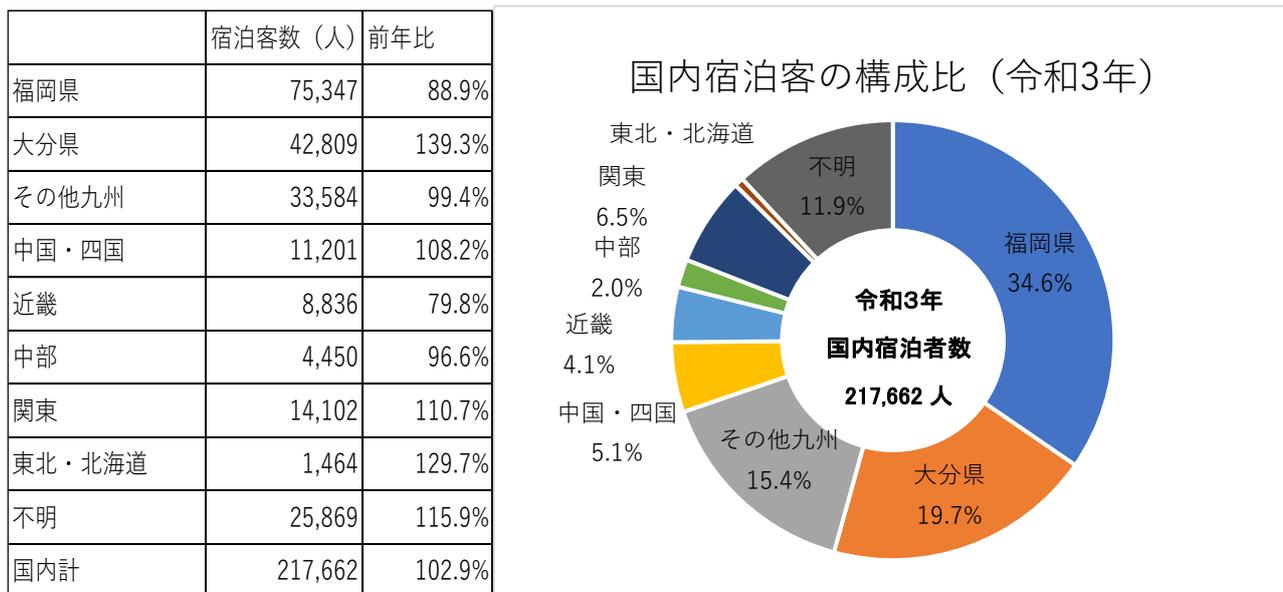
発地別に見ると、福岡県からの宿泊客数が最も多く34.6%を占め、次いで大分県内が19.7%、その他九州・沖縄が15.4%の順となっており、近隣からの宿泊客が約7割を占める状況である。【図表2】

地区別宿泊客数は、旧日田市や天瀬町では例年みられる季節的な変動ではなく、新型コロナウイルスの感染拡大状況や「新しいおおいた旅割」「日田の恩返しキャンペーン」に合わせた客数の増減が見られる。

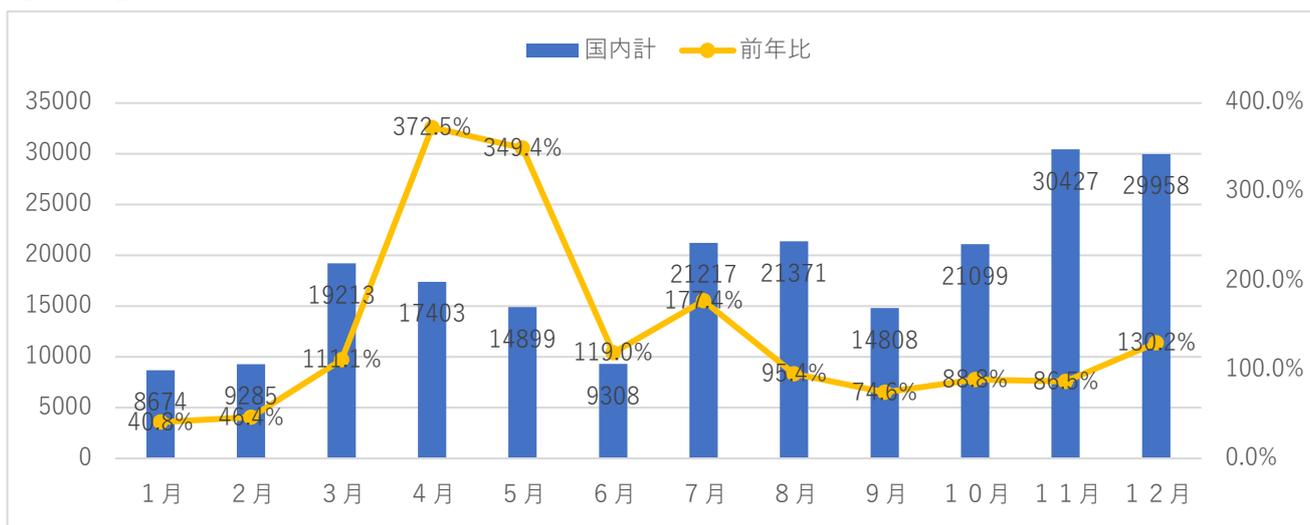
【図表 3】 【図表 4】

福岡県・大分県からの宿泊者の構成率について、福岡県からが2年ぶりに4割を割り込んだが依然として高い構成率となっている。大分県からは2割を超えた。マイクロツーリズムの浸透と各種旅行支援策の影響とみられる。**【図表 5】 【図表 6】**

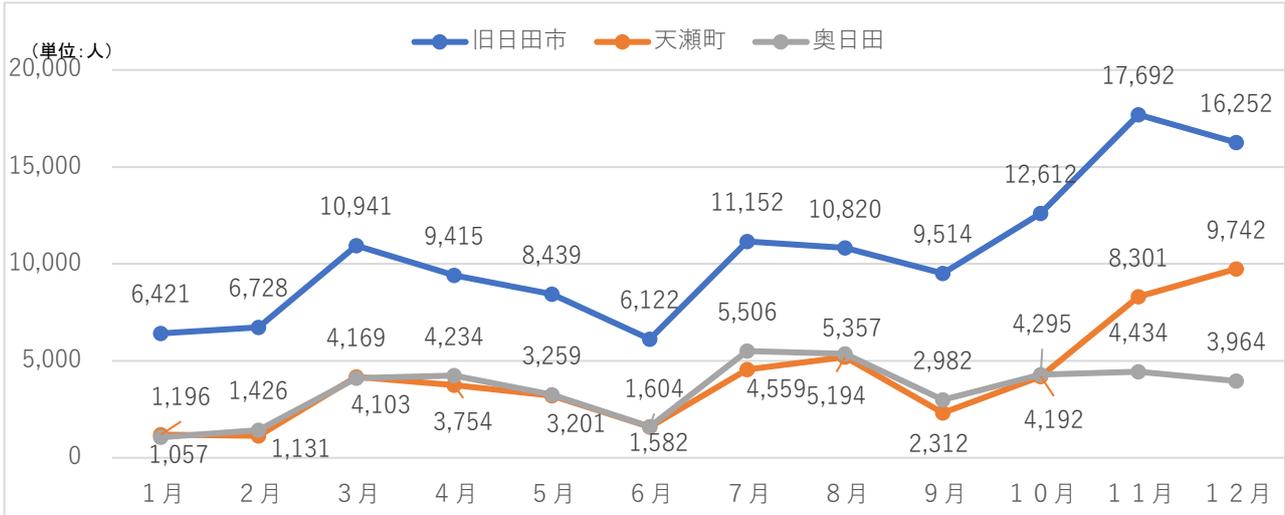
【図表 2】 国内発地別宿泊客数及び構成比



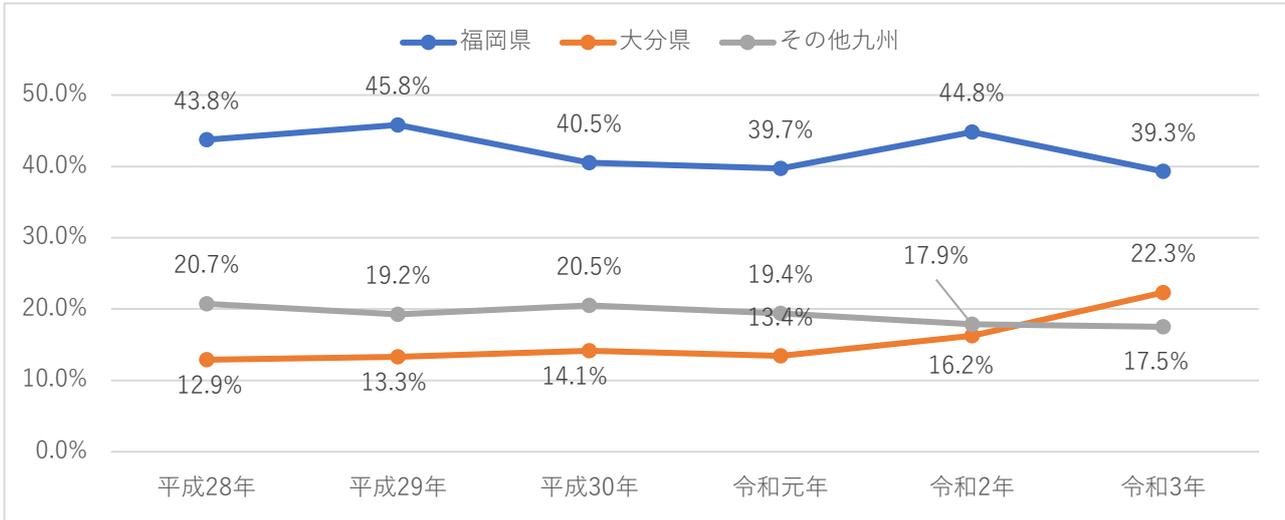
【図表 3】 令和3年国内宿泊客数



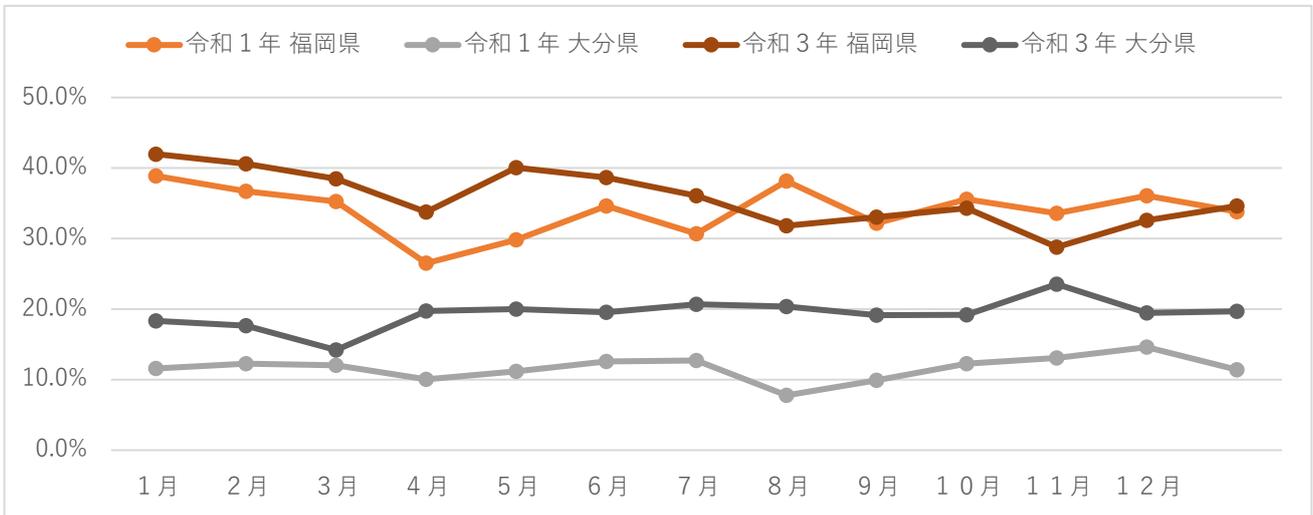
【図表 4】令和 3 年地区別宿泊客数



【図表 5】福岡県・大分県からの宿泊客数の国内宿泊客における構成率の年推移



【図表 6】令和 3 年福岡県・大分県からの宿泊客数の国内宿泊客における構成率の月推移 (令和元年との比較)

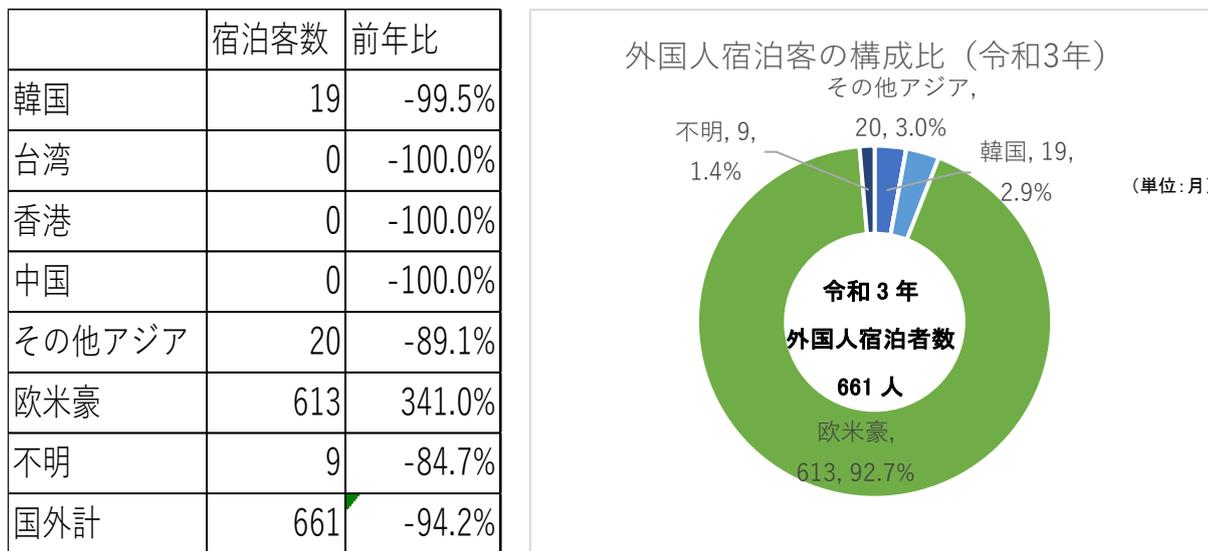


3 外国人宿泊客数の動向

令和3年の外国人宿泊客数は、令和2年と比べ94.2%減少した。【図表7】

外国人宿泊客の国籍・地域別構成比を見ると、台湾からの宿泊客が最も多く、外国人宿泊客全体の49.5%を占める。次いで韓国、中国の順となっており、香港、タイ・マレーシア等のその他アジアを含めたアジア圏で約9割以上を占めている。【図表7】

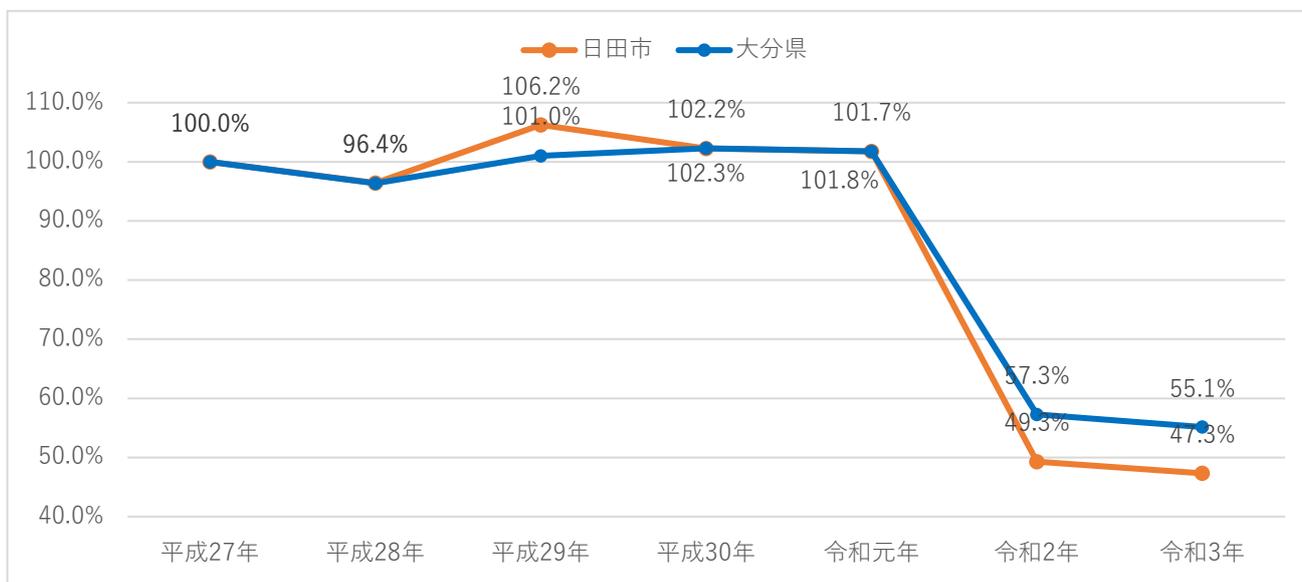
【図表7】外国人発地別宿泊客数及び構成比



4 宿泊客の増減

本市と大分県の宿泊客の増減率（平成27年から令和3年の7年間）を見ると、熊本地震の影響で平成28年の宿泊客数が著しく減少した。その後の災害からの復興キャンペーンやインバウンド対策により平成29年は急増した。令和3年は令和2年からの新型コロナウイルス感染拡大による影響が大きい。

【図表8】日田市・大分県の宿泊客の推移（宿泊客数の増減(平成27年比)）

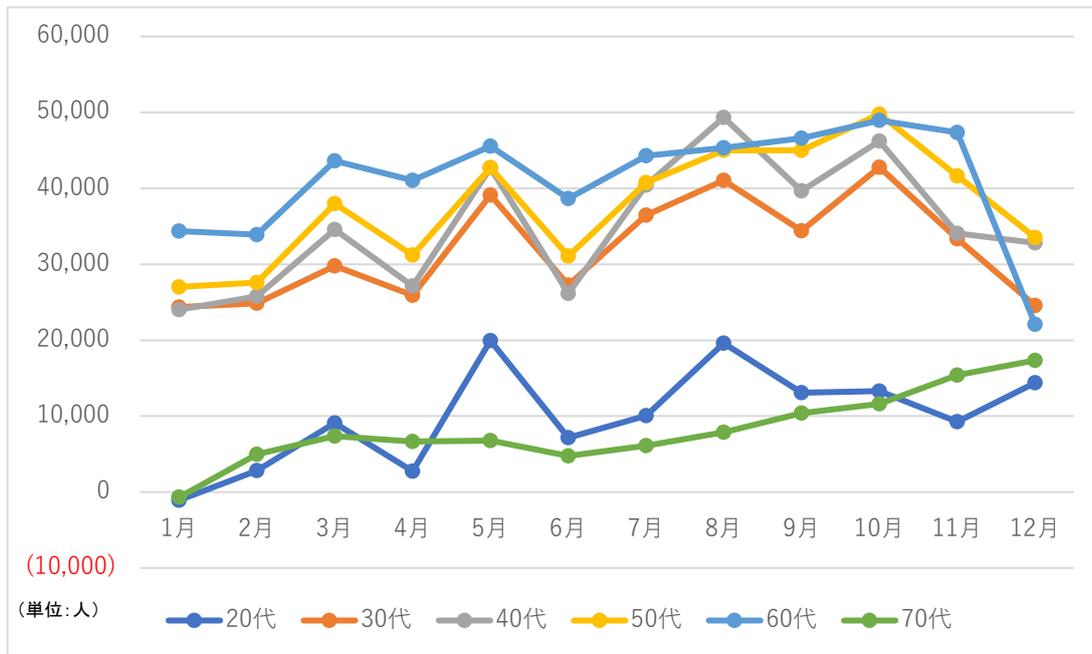


5 日帰り観光客の動向

令和3年の本市のRESASによる日帰り観光客（昼間人口－夜間人口※RESASによる）は、5、8、10月がピーク。【図表9】

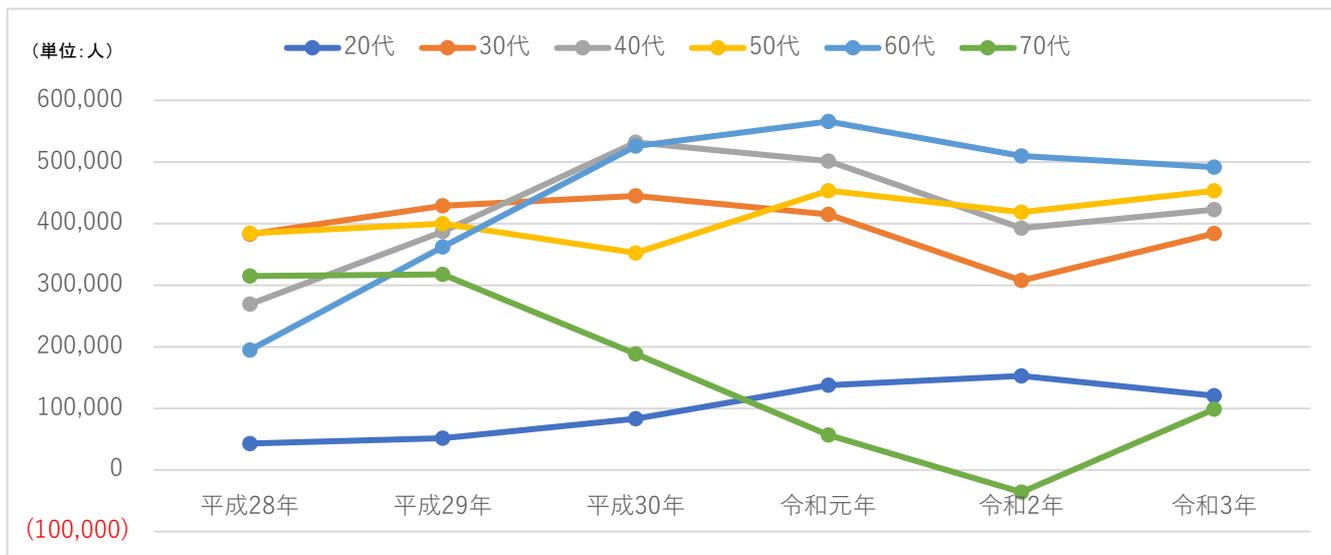
平成28年に各世代とも大きく落ち込んだが、30代～50代、70代は令和2年より増加したが、20代、60代は減少した。【図表10】

【図表9】 令和3年日帰り観光客数（昼間人口－夜間人口）の推移（RESASより集計）



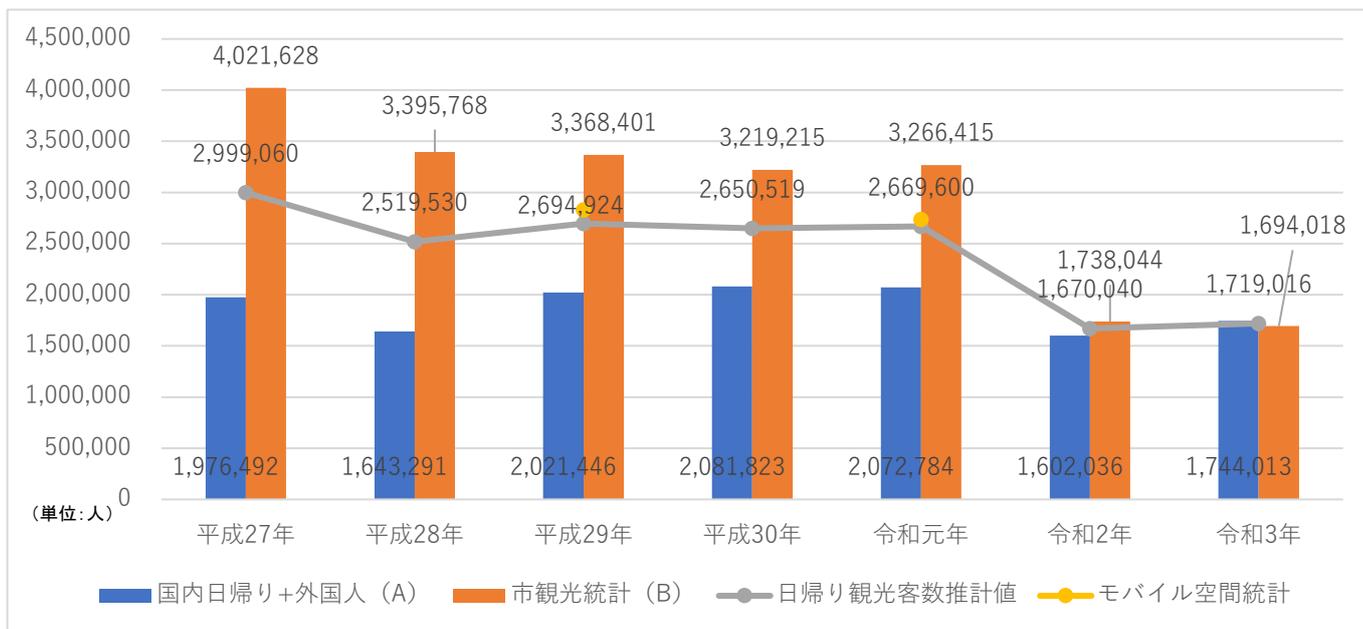
（単位：人）	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
20代	-1,068	2,818	9,072	2,724	19,944	7,166	10,066	19,609	13,100	13,289	9,250	14,406
30代	24,361	24,868	29,766	25,893	39,104	27,246	36,479	41,052	34,400	42,781	33,360	24,549
40代	24,023	25,772	34,560	27,132	42,678	26,144	40,402	49,327	39,660	46,203	34,050	32,819
50代	27,019	27,590	37,966	31,209	42,743	31,086	40,757	45,012	44,990	49,771	41,620	33,511
60代	34,354	33,896	43,619	41,040	45,552	38,632	44,283	45,341	46,590	48,943	47,370	22,088
70代	-682	4,992	7,363	6,660	6,780	4,746	6,118	7,867	10,410	11,595	15,390	17,351

【図表 10】日帰り観光客数（昼間人口－夜間人口）の年推移（RESAS より集計）



	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年	令和 2 年	令和 3 年
20 代	42,956	51,306	83,201	137,539	152,715	120,376
合計に占める割合 (20 代)	2.7%	2.6%	3.9%	6.5%	8.7%	6.1%
30 代	382,855	429,103	444,987	414,715	307,557	383,859
合計に占める割合 (30 代)	24.1%	22.0%	20.9%	19.5%	17.6%	19.5%
40 代	269,192	386,847	531,883	501,317	392,841	422,770
合計に占める割合 (40 代)	16.9%	19.9%	25.0%	23.5%	22.5%	21.5%
50 代	384,408	400,063	352,424	453,533	418,592	453,274
合計に占める割合 (50 代)	24.2%	20.5%	16.6%	21.3%	24.0%	23.0%
60 代	194,873	362,092	525,940	565,776	509,970	491,708
合計に占める割合 (60 代)	12.3%	18.6%	24.7%	26.6%	29.2%	25.0%
70 代	314,754	317,589	188,257	56,842	-36,095	98,590
合計に占める割合 (70 代)	19.8%	16.3%	8.9%	2.7%	-2.1%	5.0%
合計	1,589,038	1,947,000	2,126,692	2,129,722	1,745,580	1,970,577

【図表 11】 日帰り観光客数の推計値（日田市観光統計と R E S A S 滞在人口の平均値）



日田市の日帰り観光客の推計値（単位：人）

	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年	令和 2 年	令和 3 年
国内日帰り+外国人 (A)	1,643,291	2,021,446	2,081,823	2,072,784	1,602,036	1,744,013
市観光統計 (B)	3,395,768	3,368,401	3,219,215	3,266,415	1,738,044	1,694,018
日帰り観光客数推計値 (A + B) / 2	2,519,530	2,694,924	2,650,519	2,669,600	1,670,040	1,719,016

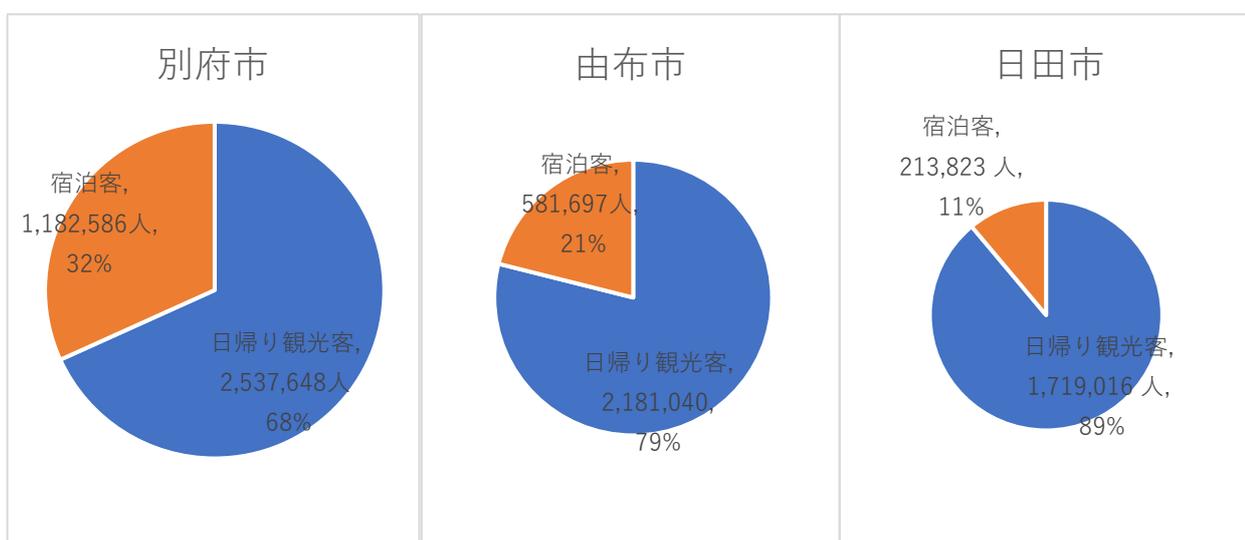
6 宿泊客と日帰り観光客の割合

宿泊率は令和元年から約3%減少した昨年に続き、11%台となった。本市の観光入込客の10～15%が宿泊客であり、周辺観光地と比較すると宿泊観光客の割合が少なく、県内宿泊を目的とした立ち寄り地となっている状況である。宿泊率向上につなげる観光施策が必要と考えられる。【図表12】【図表13】

【図表12】 宿泊客と日帰り観光客の割合

	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
日帰り観光客数推計値	2,519,530	2,694,924	2,650,519	2,669,600	1,670,040	1,719,016
宿泊客数	435,814	480,172	462,075	459,812	222,804	213,823
宿泊率	14.7%	15.1%	14.8%	14.7%	11.8%	11.1%

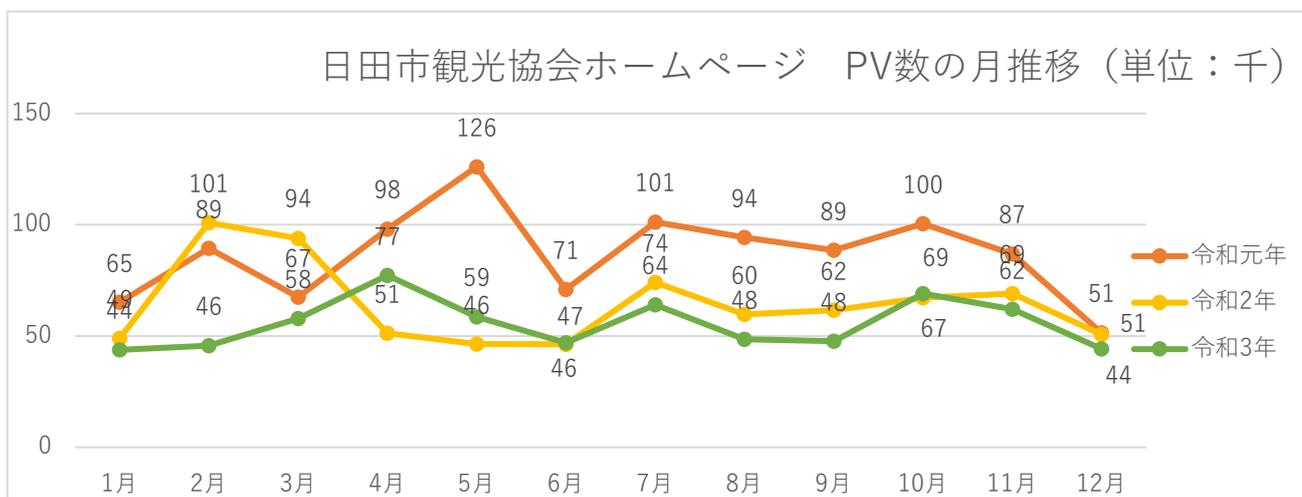
【図表13】 他自治体との観光入込客の比較（令和3年）



7 日田市観光協会ホームページのアクセス状況

新しいおおいた旅割（3月～）や「日田の恩返しキャンペーン第3弾（4月～9月）・第4弾（10月～1月）」の開始に合わせてページビューの伸びが見られたが、合計では前年比13.6%減少した。【図表14】

【図表14】 ページビュー（PV）数の推移



8 観光消費額と経済波及効果

1) 観光消費額（推計）

令和3年の観光消費額：177億7,622万円

令和元年の旅中アンケート調査から得られた1人当たり観光消費額から算出した令和3年の観光消費額は177億7,622万円となった。

①令和元年 旅中アンケート調査結果（2019年）から推計する1人当たりの観光消費額及び大分県観光実態調査報告書からみる大分県内での1人当たり観光消費額

	日田市内	大分県内
日帰り旅行	7,081円	5,998円
宿泊旅行	26,208円	41,664円

②日帰り観光客推計値及び市内宿泊客数から算出する観光消費額

令和3年	入込客数	観光消費額（推計）
日帰り観光客	1,719,016人	121億7,235万円
宿泊観光客	213,823人	56億387万円
（合計）	1,930,839人	177億7,622万円

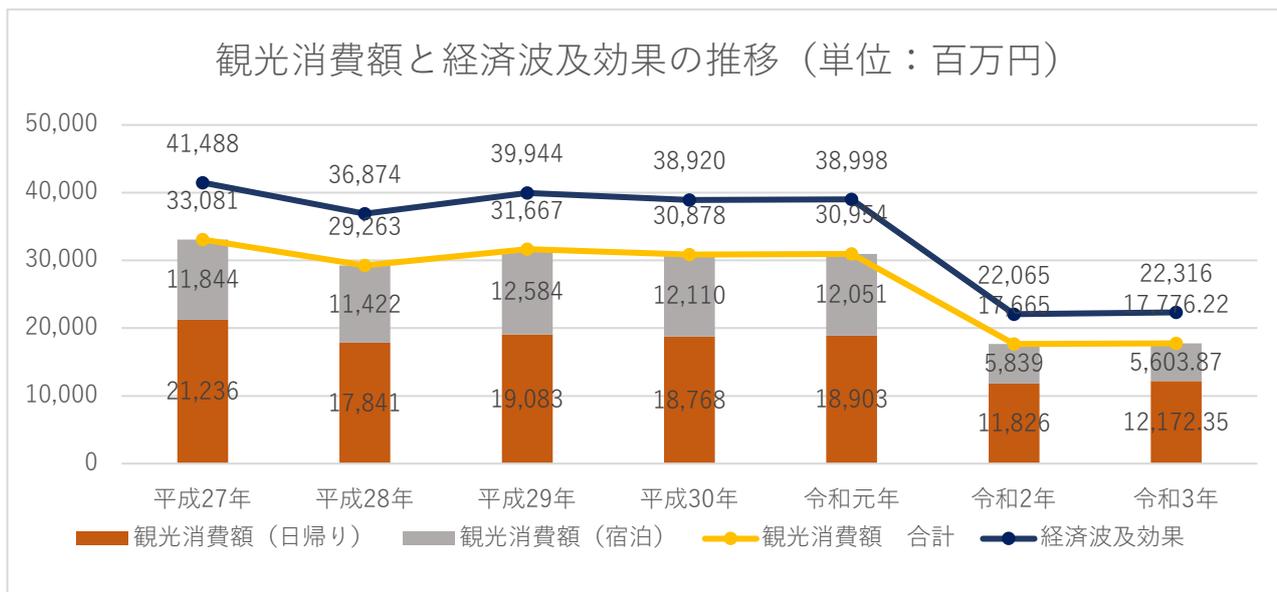
※日田市の観光消費額を算出する上での観光入込客数は、日帰り観光客は、日田市観光統計とRESAS滞在人口の平均値、宿泊客数は日田市観光統計の数値を使用する。

2) 令和3年の経済波及効果（生産誘発額）

令和3年総合効果：223億1,600万円

観光消費額は前年比0.6%増、経済波及効果は前年比1.1%増。

【図表15】



※平成23年（2011年）「大分県産業連関表 経済波及効果分析ツール 与件データ作成ツール」を使用し、一人当たり観光消費額は令和元年の旅中調査結果の（日帰り旅行7,081円、宿泊旅行26,208円）を使用し算定した。